

平成26年度保健福祉局運営の総括表

基本方針・重点方針	平成26年度重点取組					
	取組名	目標	計画・条例等	実績	備考	所属等
1 「いのち」 すべての市民の皆様のかげ がえのない「いのち」を守りま す。	1 生活困窮者に対する相談支援 体制の充実強化	新たに相談支援員を配 置する等、試行的に相 談支援体制を充実強化	—	平成26年5月から醍醐福祉事 務所に3名の面接相談支援員 を設置し、相談援助体制（生 活保護相談及び、生活困窮者 自立支援促進モデル事業）の 充実強化を実施 ＜実績（26.5～27.3末）＞ 相談受付489名 うち、モデル事業対象者 57 名 うち、事業利用者 21 名 （事業利用者のうち、7名が 就労に結びついた）		生活福祉部 地域福祉課
	2 チャレンジ就労体験事業	社会的な居場所を失っ た保護受給者につい て、就労体験ができる 場を提供	—	平成26年度支援結果 支援対象者126名 うち、就労体験実施者82 名 （就労体験先事業所数120箇 所）		
	3 産後ケア対策の充実 ～スマイル・ホッと事業～	母親の心身のケアや育 児サポート等の支援を 行う。	—	利用者支援数 ・産後ショートステイ：34 件 ・産後ケアセンター：5件		保健衛生推進室 保健医療課
	4 風しん対策の充実	風しん抗体検査と民間 の医療機関にも拡大し て実施等	—	検査件数 ・協力医療機関：1851件 ・保健センター：56件		
	5 働く世代の女性支援のための がん検診推進事業	受診率の向上	—	がん検診無料クーポン利用者 数 ・子宮頸がん 10,799人 ・乳がん 7,986人		
	6 民間保育所耐震改修助成	耐震改修助成（10箇所 分）の実施	京都市民営保育園 耐震化計画	耐震改修助成（16箇所）の実 施		子育て支援部 保育課
	7 国民健康保険の保険料率据置 き	保険料率の据置き	—	平成26年度国民健康保険料に おいて、保険料率の据置きを 実施		生活福祉部 保険年金課
2 「はぐくみ」 「子どもを共に育む京都市民 憲章」の理念が息つき、子ども を安心して生み、楽しく育てるこ とができるまちづくりを進めま す。	1 「子ども・子育て新制度」開 始に向けた取組	「子ども・子育て支援 事業計画」策定への議 論を進める。	京都市民営保育園 耐震化計画	・「京都市子ども・子育て会 議」を3回、同会議の部会 （計画の策定に関わるものに 限る）を38回開催 ・「子ども・子育て支援事業 計画」等を一体的に盛り込ん だ「京都市未来こどもはぐく みプラン」を策定（1月）		子育て支援部 児童家庭課・保育 課
	2 保育所整備助成事業	新築3箇所、老朽改築及 び定員増2箇所、増築1 箇所の計6箇所を整備		新設6箇所、増改築等13箇 所、分園設置1箇所の計20箇 所を整備		子育て支援部 保育課
	3 昼間里親運営	実施箇所の拡大（5箇 所）		新設4箇所、昼間里親改修等6 箇所の計10箇所を整備		
	4 子育て家庭のニーズに応じた 多様な保育サービスの充実	延長保育、休日保育、 病児保育（病後児併設 型）実施箇所の拡大		・延長保育（3箇所増 192箇 所→195箇所） ・休日保育（1箇所増 6箇所 →7箇所） ・病児保育（病後児併設型） （1箇所増 3箇所→4箇所）		子育て支援部 児童家庭課
	5 子育て支援情報発信	スマートフォンアプリ の作成	—	京都市子育てアプリ「京都ほ ぐくみアプリ」の開設（2 月）		
	6 子育て支援活動いきいきセン ター（つといの広場）	実施箇所の拡大（3か 所）	—	実施箇所の拡大（4か所）		
	7 高校進学・修学支援金支給事 業の対象拡大	「入学支援金」の支給 対象の拡大等	—	平成26年4月から入学支援金 の対象を母子世帯等の一部世 帯から、全ての市民税非課税 世帯に拡大		生活福祉部 地域福祉課
	8 保育士等人材確保	京都市保育人材サポ ートセンターの設置	—	・「京都市保育人材サポート センター」の設置（平成26年 4月） ・求職者と雇用者のマッチン グや資格を有するが就労して いない潜在保育士への就職支 援等 ・保育士等が継続して保育所 等で就労できるよう支援する ための研修（就業継続支援研 修）及び潜在保育士の再就職 を支援する研修の実施		子育て支援部 保育課
	1 児童養護施設退所児童等進学 支援事業	学費の一部助成	—	学費の一部助成の実施		子育て支援部 児童家庭課
	2 共同生活援助事業所整備助成	3事業所竣工		共同生活援助事業所（グルー プホーム）（3か所、定員18 人）の新設に対する整備補助 を推進		障害保健福祉 推進室
	3 訪問入浴サービス事業の拡充	対象等の拡大	支えあうまち・京 都ほほえみプラン	・平成26年4月から対象年齢 を18歳以上のみから18歳未満 に拡大 利用回数（18歳未満利用 分）：305回 ・平成26年4月から利用回数を 原則月5回→月10回に拡大 利用回数（6回以上利用 分）：956回		
	4 障害者地域生活支援センター 運営	5箇所を3障害対応型へ 移行		・平成26年度に、3障害対応 型を全15箇所に拡大した。		
	5 こころのふれあい交流サロン 運営委託事業の充実	交流サロンの設置、専 門職の配置（2名）		機能強化型サロンを2箇所設 置した。また、専門職の相談 員を1名ずつ配置し、従来の 11箇所のサロンのうち希望 のあった7箇所のサロンに派 遣を行い、相談支援の機能を 補完した。		

3「くらし」 子どもから高齢の方まで、障害のある方もない方も、いきいきと暮らすことができるまちづくりを進めます。	6	こころの健康増進センターにおけるうつ病の方のためのデイケアの実施	デイケアの実施		平成26年4月から実施。うつ病の方20人。就職、復職、職業訓練等で終了した人数7人		こころの健康増進センター
	7	医療機関と連携した自殺未遂者・ハイリスク者支援モデル事業	1箇所の医療機関において、モデル事業を実施	きょういのちほっとプラン	研修や自殺ハイリスク者の調査を実施し、院内の自殺予防について検討を実施。3月の医療安全学会のシンポジウムで内容を説明した。		障害保健福祉推進室 こころの健康増進センター
	8	京都市障害者職場定着支援等推進センターの設置・運営	センターの設置及び支援員3名配置	支えあうまち・京都ほほえみプラン	・平成26年4月にセンター設置 ・相談支援件数 7,040件/年		
	9	介護基盤等整備	・特別養護老人ホーム5,682人 ・認知症高齢者グループホーム 1,705人	第5期長寿すこやかプラン	・特別養護老人ホーム5,528人分 ・認知症高齢者グループホーム1,714人分		長寿社会部 介護保険課
	10	長寿すこやかセンター研修機能の拡充	・「キャリアパス対応生涯研修課程」の実施 ・「認知症介護実践者研修」の受講者枠の拡大（年間180人→年間240人）	—	・（キャリアパス研修）受講者数377人 ・（実践者研修）受講者数238人		長寿社会部 長寿福祉課
	11	中央斎場再整備事業	整備着工	—	・収骨室及びレストラン実施設計完了 ・配管等更新工事完了 ・収骨室及びレストラン増設工事着手(3月)		保健衛生推進室 医務衛生課
	12	臨時福祉給付金支給事業	給付金の支給	—	326,543名に支給のうち、加算対象者 169,631人		生活福祉部 地域福祉課
4「地域力」 保健・医療・福祉が連携し、地域で支え合うまちづくりを進めます。	13	子育て世帯臨時特例給付金支給事業	給付金の支給	—	74,706人に支給	対象児童1人につき1万円を支給	子育て支援部 児童家庭課
	1	～地域で気づき・つながり・支える～認知症総合支援事業	保健・医療・介護が一体となった認知症対策の推進	第5期長寿すこやかプラン	・「気づいて・つながる認知症ガイドブック～京都市版認知症ケアパス～」の作成（平成27年3月）及び窓口職員向け研修会の開催（平成27年3月） ・認知症地域支援推進モデル事業を9箇所実施 ・認知症フォーラムinきょうとの開催（平成27年3月） ・若年性認知症に係る本人等との意見交換会の開催（平成27年1月）及び支援者向け研修会の開催（平成27年2月） ・認知症に関する市民啓発（啓発パネルの作成・貸出、電光掲示板告知、市民しんぶんへの関連記事の掲載） ・第6期京都市民長寿すこやかプランの策定（平成27年3月）		長寿社会部 長寿福祉課
	2	第6期京都市民長寿すこやかプランの策定	プランの策定				
5「改革と創造」 保健福祉行政を取り巻く環境の変化に対応し、施策の「改革」と新たな展開の「創造」を推進します。	3	地域支援・生活支援の強化・推進	支援員を3名配置	京・地域福祉推進指針	・地域あんしん支援員3名を配置 ・18世帯に対し支援を実施		生活福祉部 地域福祉課
	1	身体障害者リハビリテーションセンター、こころの健康増進センター及び児童福祉センターの合築化による機能充実に向けた取組	合築化による機能充実に向けた取組		こころの健康増進センターの現 地域リハビリテーション推進センター内への移転（第1次整備）に向けた事前協議を実施		地域リハビリテーション推進センター こころの健康増進センター 児童福祉センター
	2	身体障害者リハビリテーションセンターの機能再編	・地域リハビリテーション事業の拡充及び高次脳機能障害者支援体制の構築 ・附属病院廃止に向けた調整等	京都市におけるリハビリテーション行政の基本方針	・生活期リハビリテーション推進モデル事業を実施 ・高次脳機能障害者支援者研修を実施 ・転院支援の実施（入院 平成27年1月20日終了） （外来 支援対象490名全員の転院支援完了）		地域リハビリテーション推進センター
6「挑戦」 制度のはざまへの新たな施策や不正受給の根絶等、社会経済活動の活性化に努めます。	3	敬老乗車証ⅠC化検討・調査	ⅠC化について必要な検討・調査の実施	敬老乗車証制度の今後の在り方に関する基本的な考え	敬老乗車証ⅠC化検討・調査に係る報告書の作成		長寿社会部 長寿福祉課
	4	人と動物が共生できるまちづくりの推進	・京都動物愛護センター（仮称）（愛称：動物愛ランド・京都）整備 ・プレ事業の実施（動物愛護出前講座の充実やボランティアコーディネーターの養成等） ・「京都動物愛護憲章（仮称）」の策定	京都市動物愛護センター（仮称）構想	・京都動物愛護センター付帯設備整備完了（8月） ・京都動物愛護センター建物部分の着工（8月） ・京都動物愛護センター内覧会の開催（3月） ・ボランティアスタッフ養成講座の開催（計6回） ・京都動物愛護憲章懇話会の開催（計4回） ・京都動物愛護憲章の制定（12月12日）		保健衛生推進室 医務衛生課
	5	市衛生環境研究所と府保健環境研究所の共同化に向けた立替基本計画策定事業	・基本計画の策定及び基本設計	—	・基本計画の策定		
6「挑戦」 制度のはざまへの新たな施策や不正受給の根絶等、社会経済活動の活性化に努めます。	6	はばたけ未来へ！京プラン実施計画の着実な推進	引き続き、計画に掲げた改革の取組の推進	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	計画に掲げた改革の取組を推進		各担当課
	1	社会保障制度における不正の根絶	生活保護をはじめとする社会保障給付の更なる適正化の推進	—	・生活保護不正受給事案の告発12件（逮捕10件、追送致2件）		保健福祉部 監査適正給付推進課
6「挑戦」 制度のはざまへの新たな施策や不正受給の根絶等、社会経済活動の活性化に努めます。	2	生活保護適正化推進事業	専任嘱託員の再編等による不正案件への取組強化	—	平成26年度通報336件 ・調査終了258件 うち改善81件 うち問題なし177件 ・調査継続中78件 ※調査結果は平成27年7月末時点件数		保健福祉部 監査適正給付推進課

経済状況の変化に合わせた新たな取組に、スピード感を持って果敢に「挑戦」します	3	プロジェクトチームの取組	有効な対策の具体化	—	・犬猫等ふん尿被害対策検討プロジェクトチーム会議の開催（計3回） ・京都市動物との共生に向けたマナー等に関する条例の制定（平成27年3月）		保健福祉部 保健福祉総務課 保健衛生推進室 医務衛生課
	4	地域支援・生活支援の強化・推進【再掲】	支援員を3名配置	京・地域福祉推進指針	・地域あんしん支援員3名を配置 ・18世帯に対し支援を実施		生活福祉部 地域福祉課